

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月21日(水)

事務事業		観光振興事業		担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	37231	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等	・ 深谷市補助金等の交付に関する規則				
	小項目	2	観光資源の整備と活用							
	主要プロジェクト									
事業概要		深谷市観光協会に対して、観光案内やまつりなどの業務を委託するほか、着地型観光の一環として深谷えん旅事業を行っている。また、深谷花火大会、重忠まつりの実行委員会に対する補助も行っている。								
目的 ※何のために		古来からあるまつりや地域に親しまれてきたイベントなどを観光資源とするため。								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市観光協会、深谷えん旅実施事業者、深谷花火大会実行委員会、重忠まつり実行委員会								
手段 ※どのように		事業の委託・直営及び補助金の交付								
成果 ※何を求めるか		市内観光について、きめ細かい対応を図ることができる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 深谷市観光協会等 ）								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	観光振興事業	31,716,164
本事業の 主な業務		・ 深谷市観光協会への業務委託							・	
		・ 各まつり実行委員会への補助							・	
		・ 深谷えん旅の実施							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		観光振興関連業務委託まつり補助金深谷えん旅の実施	観光振興関連業務委託まつり補助金深谷えん旅の実施				
事業費	予算（現額）	16,983,000	35,937,000	40,771,000	47,417,000		
	決算額	15,515,494	31,716,164	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	13,368,000	33,182,000	39,957,000		
		一般財源	2,147,494	31,716,164	7,589,000	7,460,000	
人件費	従事職員数（人）	0.67	0.67	0.67	0.67		
	人件費相当試算※	5,200,483	5,272,603	5,815,583	5,815,583		
総事業費試算		20,715,977	36,988,767	46,586,583	53,232,583		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	観光協会業務委託費用		目標値	万円	2,664.40					
			実績値		2,473.49					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度の現状値を目標値として設定した。/観光協会業務委託費用						
	実績値の算出式									
成果指標 1	深谷えん旅参加者数		目標値	人	1,763.00					
			実績値		407.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成28年度の実績を目標値として設定した。(73プログラムで1763人) / 深谷えん旅参加者数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	深谷えん旅市外参加者割合		目標値	%	26.00					
			実績値		38.30					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成28年度の実績を目標値として設定した。(26%) / 深谷えん旅市外参加者割合						
	実績値の算出式									
成果指標 3	桜まつり、七夕まつり深谷まつり入込客数		目標値	千人						
			実績値		209.90					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			参考指標のため、目標値を設定することができない。 / 当該年度末日実績						
	実績値の算出式									
成果指標 4	観光協会訪問者数		目標値	人						
			実績値		4,166.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			観光協会が決定するため、目標値を設定することができない。 / 当該年度末日実績(協会集計)						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	今年度から各種イベントが再開し、深谷七夕まつりと深谷まつりの2つのまつりを実施することができたが観光協会への業務委託費用は目標値を下回ることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	新型コロナウイルスの影響も小さくなり各種イベントが再開したが、一度中止した『深谷えん旅』事業者が以前のように事業を再開していないため、『深谷えん旅』参加者は目標値を大幅に下回ってしまった。市外参加者の割合は目標値を超えて38.3%となった。
			評価者 観光物産係長 飯塚 大悟

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	令和2年度から『深谷えん旅』を通年化し、独自のホームページを立ち上げたことから、年間を通じた効率的な事業展開をできるようになった。
			評価者 観光物産係長 飯塚 大悟

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	観光振興事業	担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	37231
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		今年度から各種イベントが再開したことから、深谷のまつり事業のうち深谷七夕まつりと深谷まつりを業務委託先である（一社）深谷市観光協会を中心に開催することができ、市内のにぎわい回復の一助となった。また、観光案内業務についてもコロナ禍以前より多くの来訪者に対して適正な案内ができた。 『深谷えん旅』については、事業者による事業展開によるものであるが、積極的に再開してもらえるよう働きかけをしていく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	商工振興課長 岩田 展雄				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	深谷まつりについて、昨年度はコロナ禍ということもあり市役所本庁舎駐車場ではほぼ関係者のみで開催したが、令和5年度は市役所通りで開催することで多くの集客とにぎわい回復に努める。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和6年度は洪沢栄一翁の新一万円札発行の年となるため、市内への来訪者の増加が予想される。（一社）深谷市観光協会には観光案内業務も委託しているため、問い合わせについて適正に対応してもらえるよう指示していく。

8. 評価指標グラフ

